



## 8/1 「小・中学校道徳科研修講座」の概要を紹介します！

### 考え、議論する道徳の授業づくり ～知的ワクワクを引き出すには～

立命館大学大学院 教授 荒木 寿友 先生



「考え、議論する道徳」が求められている中で、私たち教師はどのように子どもたちの「考えたい」気持ちや「話したい」気持ちを引き出せばよいのでしょうか。今回は、今必要とされている「議論」のあり方について知り、子どもたちがモヤモヤしたりワクワクしたりしながら考えられる授業の仕掛けや、その際の教師の役割について、分かりやすく教えていただきました！

### ○そもそも…道徳って何をする時間？

学習指導要領解説編・特別の教科道徳

〈目標〉

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う



どうやったらみんなが  
 ハッピー（幸せ）になるのかについて、  
 あれこれ考える時間

#### 道徳の授業で大切にしたいこと

- ・道徳的価値について考えること。
- ・他人の意見にきちんと耳を傾けること。人の話をよく聞くこと。他者とつながること。
- ・新しい見方や考え方を手に入れること。
- ・たくさん悩む練習をすること。

自分の価値観を  
 バージョンアップ！

道徳は「正解がない」のではなく、  
 一人一人のハッピー（よりよい生  
 き方）は多様であり、「正解は一つ  
 に絞れない」ということ。

### ○道徳の授業としての成立要件とは？



道徳科で  
 行うべき活動



- ① 道徳的諸価値の理解をもとに（前提）
- ② 自己を見つめる（自己内対話） 例：これまで～したことは？ / 「思いやり」って何？ 自分だったらどうする？
- ③ 多面的・多角的に物事を考える（多様な見方） 例：あの人はどう考えるのだろう？
- ④ 自分の生き方について考える（将来への展望） 例：これから何を大切にしたいか

道徳性（判断力、心情、実践意欲と態度）を育てる

みんなが多様な  
 アイデアを出しながら  
 考えるために…

- 【場面発問】…教材理解、解釈のための問い
- 【中心発問】…教材から導かれる問い
- 【テーマ発問】…その時間に扱う道徳的価値についての問い  
 （親切とは？/思いやりって何だろう？ など）
- 【補助発問】…切り返しの発問、子どもの思考にゆさぶりをかける発問

## ○「深く考える」って？

深く考える = 思考停止しない、わかったつもりにならない ➡ 問い続けること

私たちは、日常生活において物事をパッと捉え判断しがちです。物事を「深く考える」ためには、以下のように一度立ち止まってじっくり考えるための仕掛けが必要となってきます。

- ・キーワードは「モヤモヤ」  
子どもたちの生活経験(当たり前)に「ズレ」を感じさせることで、考え始める。

- ・多面的、批判的に考える  
(さまざまな側面から自分たちのものの見方・当たり前を問い直す)



深く考える授業にするためには

- ・即断即決ではなく、立ち止まって考えるポイントをつくること
- ・物事の本質は何かをさぐってみること
- ・できるだけ多様な面から物事をとらえること
- ・物事の関係性を見出すこと、意味づけを行うこと
- ・自らが出した結果に対して責任をもつこと

## ○対話にもとづいた議論とは？

議論するためには、会話ができる学級の風土、文化が前提となります。また、一方的な「発表」にならないために、やりとりをしていく「スキル」が必要になってきます。

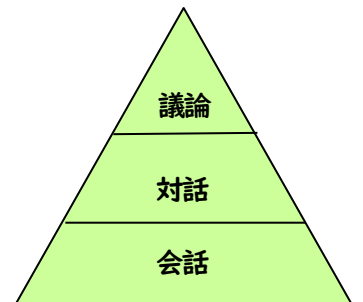
### 対話を行うために

#### ① 場のルール作り

- ・参加している人全員が、「今自分は、誰かの役に立っている」と感じられること。
- ・安心して話せるためのルールを子どもたちと決め、毎回徹底すること。

#### ② 話し合いのスキル

- ・自分の考えだけを伝えて終わり(0.5往復)ではなく、つなぎ言葉やあいづち、オープンクエスチョンなどを用いて1往復、2往復のやり取りを意識すること。
- 時間をかけて徐々に育てていくもの。



## ○大切なこと(荒木先生より)

- ・教師自身が道徳の授業を楽しむこと!
- ・子どもたちの道徳性を育てていこうと思わずに、「これについて子どもたちってどんなことを考えているんだろう?」と、子どもたちの道徳性を「探究していく」姿勢で、一緒に授業を創ること。

★なんかスッキリしない!モヤモヤする!

そんな感想を子どもたちが抱いたなら、それは成長に向かっている証拠です。



受講者の声

- ・悩んでいた部分をスッと解消してくださる内容でした。
- ・道徳科の学びはもちろんのこと、自分の在り方についても考えられた時間でした。
- ・時間が足りないと思えるくらいに充実した内容でした。
- ・今回の資料を大切に、定期的に振り返りたいです。
- ・2学期の授業を組み立てるのが楽しみです。

《問い合わせ》  
研修課 0770-56-1302